2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年 1～5組	教科	国語	科目	国語 A
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	<p>【発見力】…様々な作品に触れ、自分なりの国語の楽しさを見つける。</p> <p>【思考力】…作品を読み筆者の意図や登場人物の気持ちを考える。</p> <p>【行動力】…自ら国語の学習を進めたり、読書したりできる。</p> <p>【探究力】…授業で扱った作品や気になった作品について読みを深める。</p> <p>【発表力】…培った力を発揮し、作文コンクールなど積極的に参加する。</p>				
教材	国語 2(光村図書)・中学書写(光村図書)				
副教材等	<p>【必携】『国語便覧』浜島書店 『基本級別漢字』浜島書店</p> <p>『必修テキスト』 『αスタンダード』</p>				

1. 学習内容

★様々な作品に親しみ味わい、「読む・書く・聞く・話す」の基本的内容を学び、調べたこと、考えたことを色々な方法で表現します。

- 1 文学的文章の読み方、及び題材や内容、5W1H(いつ・どこで・誰が・どうして・どうなった)などの構成法を学びます。
→登場人物の心情の変化を読み取り、時代や状況が変化する中で自分を見つめていく大切さを考える。
- 2 説明的文章の読み方と文章構成を学び、問題意識を持って、ものを見たり考えたりします。
- 3 テーマを決め、必要な情報を収集してレポートにまとめて提出したり、発表会の形でプレゼンテーションをしたりします。
- 4 「基本級別漢字」の中の範囲を決めて、週1回漢字アサガクを行います。
→漢字検定4級以上の取得を目指す。そのため、別途配布の漢検対策プリントもアサガクに盛り込む。

★中学2年では【行動力】【探究力】に重点を置いて学習を進めます。他の力も引き続き伸ばしていきます。

2. アドバイス

★一つひとつの活動を丁寧に行っていくことが国語力アップにつながります。そこで次の 6 項目を毎日心がけてください。

- 1 授業中および宿題などの課題(語句の意味調べや新出漢字を覚える等)は必ず行うこと。
- 2 教科書のキーワードや大意が分かるようになるまで繰り返し読むこと。
- 3 考えたことや思ったことを書いたり話したりなど進んで表現すること。
- 4 板書をノートするだけでなく、教師が話す大事なところや自分の考えをメモすること。
- 5 名作を中心に進んで読書すること。
- 6 毎週行う「漢字アサガク」の練習は早めに開始し、確実に覚えること。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- 1 定期考査
- 2 平常点(授業態度・ノート提出・宿題・課題)
- 3 漢字アサガク・その他小テスト

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	読む		広がる学びへ	「見えないだけ」 「アイスプラネット」 「枕草子」	中心文と具体的事例の関係に注意して読み取ることができる 本文を要約できる	☐ ☐
	言葉		漢字1	「熟語の構成」	熟語の構成について理解できる	☐
	漢字		アサガク	漢字検定4級 (中1範囲の繰り返し+α)	漢検4級取得に向け、朝テストに全力で取り組める	☐
	演習		表現活動 実践力養成	表現活動 説明・評論文の読解	情報を①集める②選ぶ③表現することができる 問題演習に取り組み、間違えた理由を明らかにできる 本文を要約できる	☐ ☐
1学期期末考査	読む		多様な視点から	「クマゼミ増加の原因を探る」	話題を捉え、筆者の思いを読み取ることができる	☐
	漢字		言葉と向き合う	「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」 「言葉の力」	漢検4級取得に向け、朝テストに全力で取り組める	☐
	言葉		アサガク	漢字検定4級 (中1範囲の繰り返し+α)	類義語・対義語・多義語を覚える 単語の分け方を理解する	☐ ☐
	演習		言葉1 文法への扉1 学力推移調査 実践力養成	類義語・対義語・多義語 単語をどう分ける？ 7月学力推移調査対策 説明文・評論文の読解	問題演習に取り組み、間違えた理由を明らかにできる 本文を要約できる 初見問題を、時間内に解き終えることを意識して臨むことができる	☐ ☐ ☐
夏休み	宿題		αスタンダード・読書ブログ・天声人語 など 各種コンクールへの積極参加			

2学期中間考査	読む	人間のきずな 論理を捉えて	「盆土産」 「字のない葉書」 「モアイは語る」	中心文と具体的事例の関係に注意 して読み取ることができる 本文を要約し、意見文を書く	☐
	言葉	言葉2 漢字2	敬語 同じ訓・同じ音をもつ漢字	敬語(尊敬・謙譲・丁寧)を正しく認 識し、使い分けられる 同音・同訓異義語を理解する	☐
	漢字	アサガク	漢検 4 級 (中1範囲の繰り返し+α)	漢検 4 級取得に向け、朝テストに全 力で取り組む	☐
	演習	実践力養成	学力推移調査 11 月過去問	傾向をとらえ、学力テストにむけて 取り組むことができる 問題演習に取り組み、間違えた理 由を明らかにできる	☐
2学期期末考査	読む	いにしへの心を 訪ねる	「平家物語」 「扇の的」 「漢詩の風景」	古典作品に親しみ、特有の単語や 言葉に慣れる 正しく、音読できる	☐
		価値を語る	「君は『最後の晚餐』を 知っているか」	文章構成における具体と抽象の関 係を理解する。	☐
	漢字	表現活動 朝テスト	表現活動 漢検 4 級	漢検 4 級取得に向け、朝テストに全 力で取り組むことができる	☐
	演習	実践力養成	説明文・評論文の読解	問題演習に取り組み、間違えた理 由を明らかにできる	☐
	書写	書写	「行書に仮名を交えて書こう」	行書と仮名の調和を意識して書くこ とができる	☐
冬休み	宿題	αスタンダード・読書ブログ・天声人語 など			

3学期学年末考査	読む	書写 表現を見つめる 学習を広げる	「行書」 「走れメロス」 「生物が記録する科学」	行書の理解を深められる	☐
	言葉	文法への扉2・3	走る。走らない。走ろうよ。 一字違いで大違い	中心文と具体的事例との関係に注目して読み取ることができる 本文を要約できる	☐
	漢字	言葉3 漢字3	話し言葉と書き言葉 送り仮名		☐
	演習	アサガク 実践力養成	漢検 4 級 学力推移調査1月 説明文・評論文の読解	漢検 4 級取得に向け、朝テストに全力で取り組む 傾向をとらえ、学力推移調査に向けて取り組むことができる 問題演習に取り組み、間違えた理由を明らかにできる	☐ ☐ ☐
春休み	宿題	4月学力推移調査対策・読書ブログなど			

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	国語	科目	国語B
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	<p>【発見力】…文法や古文を学び、日本語・文化・伝統の面白さを見つける。</p> <p>【思考力】…文法事項や知識を覚えるだけでなく理解できる。</p> <p>【行動力】…理解した知識を使いこなせるようになる。</p> <p>【探究力】…普段使っているの言葉や友達との会話からも学びを深める。</p> <p>【発表力】…様々な発表の場面で、細かいところまで言葉に注意して発表することができる</p>				
教材	国語2(光村図書)・中学書写(光村図書)				
副教材等	<p>【必携】『国語便覧』浜島書店 『すらすら基本文法』浜島書店</p> <p>『必修テキスト』 『αスタンダード』</p>				

1. 学習内容

★以下の内容を学習します。

- 1 文法…口語文法1年次の続き(助動詞)とまとめ。
- 2 百人一首…50首～100首を通して学びます。
→1年次に続き、古典文法についても学んでいく。

★中学2年では【行動力】【探究力】に重点を置いて学習を進めます。他の力も引き続き伸ばしていきます。

2. アドバイス

- ・定期考査に向けて…「すらすら基本文法」を何度も解き直しをしましょう。
- ・学力考査に向けて…「すらすら基本文法」・1年次のαスタンダードの文法部分などの復習をしましょう。
- * 一度習ったことをこまめに振り返ることにより、常にアウトプットできるようになる。
- * 同じ項目を複数の問題集で演習することで問題のパターンに慣れる。

★学力考査に向けての学習＝入試対策です。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(授業態度・ノート提出・宿題・課題)
アサガク・その多少テスト

* 国語の成績はA・Bの合算で算出します。そのため評価基準は共通です。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	文法		助動詞	助動詞1～5	それぞれの助動詞の意味がわかる 助動詞の活用を言える	☐
			1年次の復習	1年次に学習した文法		☐
	古典		百人一首	10～20首	上の句と下の句をつなげられる 和歌のおおまかな意味がわかる 和歌と詠み人が結びつく	☐ ☐ ☐
	演習		古典読解力養成	古典問題演習	古典の文章を読解できる	☐
1学期期末考査	文法		いろいろな表現	「文法と日常生活」 「敬語」 「文語のきまり」 「まぎらわしい語の見分け方」	伝わりやすい表現を使える 敬語を正しく認識し、使い分けられる まぎらわしい語を見分けられる	☐ ☐ ☐
			1年次の復習	1年次に学習した文法		☐ ☐
	古典		百人一首	10～20首	上の句と下の句をつなげられる 和歌のおおまかな意味がわかる 和歌と詠み人が結びつく	☐
	演習		古典読解力養成 学力推移調査	古典問題演習 学力推移調査対策	古典の文章を読解できる	
夏休み	宿題		国語 A に準ずる			

2学期中間考査	文法	口語文法総復習	1・2年次で学習した口語文法	1・2年次で学習した口語文法について正答できる	☐
	古典	百人一首	10～20首	上の句と下の句をつなげられる 和歌のおおまかな意味がわかる 和歌と詠み人が結びつく	☐ ☐ ☐
	演習	古典読解力養成 学力推移調査	古典問題演習 学力推移調査対策	古典の文書を読解できる	☐
2学期期末考査	文法	口語文法総復習	1・2年次で学習した口語文法	1・2年次で学習した口語文法について正答できる	☐
	古典	百人一首	10～20首	上の句と下の句をつなげられる 和歌のおおまかな意味がわかる 和歌と詠み人が結びつく	☐ ☐ ☐
	演習	古典文法 古典読解力養成	古典文法 古典問題演習	古典の文章を読解できる	☐
冬休み	宿題	*	国語 A に準ずる		
3学期学年末考査	文法	口語文法総復習	1・2年次で学習した口語文法	1・2年次で学習した口語文法について正答できる	☐
	古典	百人一首	10～20首	上の句と下の句をつなげられる 和歌のおおまかな意味がわかる 和歌と詠み人が結びつく	☐ ☐ ☐
	演習	古典文法 古典読解力養成 学力推移調査	古典文法 古典問題演習 学力推移調査対策	古典の文章を読解できる	☐
春休み			国語 A に準ずる		

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	社会	科目	歴史
				単位数	3
教材	『中学生の歴史』 帝国書院				
「学び」の目的とねらい	歴史的事柄を時代背景、政治の状況、外国との関係等を踏まえながら考えていき、思考を深めていく。				
副教材等	【必携】『中学校スタンダード 歴史資料』 帝国書院 授業ノート ※ルーズリーフ禁止 【あると便利なもの】『中学校社会科地図』 帝国書院				

1. 学習内容

原始・古代(旧石器時代)から近代の途中(日清・日露戦争)までの歴史を学習します。日本が世界とのつながりによってどのように変化していたのかに着目し、日本の歴史を中心に、世界史と関連づけながら授業を展開していきます。

歴史学習は単なる暗記科目ではありません。なぜ、そのようなことが起きたのか、時代背景、政治状況、対外関係等を踏まえながら考えていき、思考を深めていく科目です。自分の頭で“考えていく”ことをしなければなかなか理解することはできません。授業では、“考えること”が必要です。50分間しっかり考えていきましょう。

2. アドバイス

【復習】

授業前日には、前回の内容をよく復習していきましょう。歴史は積み重ねの学習です。復習課題を出すこともあります。

【授業】

歴史は考える科目です。覚えるではなく、考える作業をしていきましょう。授業後に心地よい頭の疲労があれば、その時のあなたの授業態度は合格点です。実力完成問題集は復習に活用しましょう。

【試験前】

授業ノートや授業プリントをよく見直し、歴史の流れを事件等の背景を踏まえて、文章で説明できるようにしましょう。単語だけを覚えてだけでは、良い点数は取ることができません。

【その他】

①歴史用語では難しい漢字が多く出てきます。丁寧に漢字を書き取り、難しい読みの漢字には、振り仮名をしっかりとふっておきましょう。

②授業では地図帳を用意しておきましょう。必要に応じて、場所を確認していきましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期テストの点数

平常点(授業を受ける姿勢・ノート提出・課題・小テスト・自主レポートなど)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	古代国家の成立と東アジアへ原始古代の歴史	12-19	人類の登場から文明の発生へ	人類がたどった進化 世界各地で生まれる文明	人類の誕生・進化 それぞれの人類の特徴 旧石器時代の人々の生活 文明が発生した場所と特徴	☐
		22-27	東アジアの中の倭(日本)	縄文から弥生への変化 ムラがまとまりクニへ 鉄からみえるヤマト王権	稲作・金属器の使用を資料から考え、生活の変化 古墳の規模、副葬品から考えられる時代の特徴	☐
		32-41	中国にならった国家づくり	ヤマト王権と仏教伝来 律令国家をめざして 律令国家での暮らし	この時期の日本と大陸の関わりを通じて律令国家成立まで 律令政治の確立	☐

		42-47	展開する天皇・ 貴族の政治	天平文化 権力をにぎった貴族たち 国風文化	遣唐使の影響と仏教文化 桓武天皇の政策 藤原氏の勢力拡大・摂関政治 国風文化の特徴	☐
1 学期 期末 考查	武家政権の成長と東アジア〜中世の歴史を学ぶ	52-61	武士の世の 始まり	各地で生まれる武士団 朝廷と結びつく武士 鎌倉幕府 鎌倉文化	院政・平氏政権 武家政権への移り変わり 鎌倉幕府の政治の展開 鎌倉時代の文化の特徴 鎌倉仏教	☐
		62-71	武家政権の内と外	元寇 南北朝時代、室町幕府 日明貿易、日朝貿易と倭寇	大陸の情勢、元寇 後醍醐天皇、足利尊氏の動き、 足利義満の活動と明、朝鮮との関係	☐
		74-83	人々の結びつきが 強まる社会	技術の発達とさまざまな職業 団結して自立する民衆 全国に広がる下剋上 室町文化	中世の農業や商業の発展 応仁の乱から戦国時代へ 室町時代の文化の特徴	☐
時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2 学期 中間 考查	武家政権の展開と世界の動き〜近世の歴史を学ぶ	86-91	大航海によって結 びつく世界	イスラムの拡大とヨーロッパ 大航海時代の幕あけ 東アジアの貿易と南蛮人	ポルトガル・スペインを中心としたヨーロッパの動き 鉄砲伝来・キリスト教伝来とそれに伴う変化	☐
		94-101	戦乱から全国統一 へ	信長・秀吉による全国統一 秀吉が導いた近世社会 安土桃山文化	信長の動きや政策、秀吉の全国統一までの過程 秀吉の政策 安土桃山文化の特徴	☐
		102-111	武士による支配の 完成	幕藩体制の始まり 朱印船貿易から貿易統制へ	関ヶ原の戦い、大坂冬の陣・夏の陣を通じての徳川氏の統一 幕府の大名統制 幕府が貿易制限の目的	☐

		116-125	天下泰平の世の中	<p>四つにしばられた貿易の窓口 琉球王国とアイヌの人々への 支配 身分制社会での暮らし</p> <p>安定する社会と諸産業の発 達 各地を結ぶ陸の道・海の道 元禄文化</p>	<p>江戸時代の身分制度や農民の 生活 新田開発や各地の産業</p> <p>交通の整備や三都の発展 江戸時代前半の文化の特徴に ついて学ぶ。</p>	☐
時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期期末考査	近代国家の歩みと国際社会へ近代の歴史を学ぶ	126-133	社会の変化と幕府の対策	<p>貨幣経済の広まり くり返される要求と改革 化政文化</p>	<p>享保の改革・田沼意次の政治・ 寛政の改革の背景と内容 化政文化の特徴</p>	☐
		138-145	欧米諸国における「近代化」	<p>市民革命の始まり</p> <p>人権思想からフランス革命へ 産業革命と資本主義の成立 世界進出をめざす欧米諸国</p>	<p>ピューリタン革命、名誉革命、 アメリカ独立戦争 人権思想の広がりとフランス革 命、ナポレオン戦争 産業革命と資本主義</p>	☐
		146-153	開国と幕府の終わり	<p>日本を取りまく世界情勢の変 化</p> <p>幕府の衰退 黒船来航の衝撃と開国</p> <p>江戸幕府の滅亡</p>	<p>近代国家の成立と欧米諸国の アジア進出 外国船の来航と幕府の対応 大塩平八郎の乱、天保の改革 ペリー来航・日米和親条約・日 米修好通商条約 幕末の日本の動きについて学 ぶ。</p>	☐

3 学期学年末考査	近代国家の歩みと国際社会へ近代の歴史を学ぶ	158-163	新しい価値観のもとで	明治維新 富国強兵をめざして 人々からみた富国強兵と文明開化	明治初期の政治、廃藩置県 殖産興業、徴兵令、地租改正 学制、文明開化	☐
		166-175	近代国家への歩み	明治初期の外交と国境画定 沖縄・北海道の近代化 自由民権運動 帝国憲法	岩倉使節団、樺太・千島交換 条約 士族の反乱と自由民権運動 大日本帝国憲法、帝国議会	☐
		176-183	帝国主義と日本	アジアの列強をめざして 日清戦争、日露戦争 韓国併合	条約改正問題 日清戦争・下関条約・日露戦争 韓国併合、辛亥革命	☐
		184-185	アジアの強国の光と影	日本の産業革命	日本の工業化による人々の生活の変化	☐

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	数学	科目	数学A
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	各単元の基本的な問題が解けるようになるとともに、文章問題から情報を読み取り、数式に表す力を身につける。				
教材	数学 2・3(啓林館)				
副教材等	【必携】 WinPass (文理書院) 中学2年・3年 毎日の計算トレーニング BOOK2・3				

1. 学習内容

ともなって変わる2つの量の関係を式に表し、一次関数について学習します。関数という意味を理解し、グラフにかき表すことができるように練習します。また、2元1次方程式や図形等とも関連付けて考えられるように練習します。確率では、場合の数を効率よく数え上げることにより、確率を求めます。(多項式)×(多項式)の展開、多項式の因数分解の計算ができるように学習します。

2. アドバイス

<予習> 次回の授業に学習する内容の教科書範囲に目を通すこと。

<復習> ○授業のあった日には、少なくともその日に学習した内容のノート・教科書に目を通すこと。そして、授業で解いた例や問を解くようにしましょう。さらに、取り組む意欲のある人は、問題集へ積極的に取り組みましょう。

<その他> ○授業は、後で見てわかりやすいノートを取り、授業内で理解しようという気持ちで集中して取り組みましょう。

○計算問題を1日3題～5題解くようにしましょう。計算ができるようになると数学に対する自信もついてきます。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(小テスト・朝テスト・宿題・ノート提出・授業を受ける姿勢)

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	3章 1次関数	p84 ～ p93	3節 1次関数の利用	1 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的事象を1次関数とみなして、問題を解決することができる。 ・実験で得られた数値の関係を、1次関数と見て考察することができる。 ・1次関数のグラフから具体的な場面を読み取ったり、そのグラフを利用して問題を解決できる。 	☐ ☐ ☐
	6章 場合の数と確率	p158 ～ p171	1節 場合の数と確率	1 確率の求め方 2 いろいろな確率 3 確率の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の意味を理解する。 ・起こりうるすべての結果が同様に確からしいときは、確率が計算によって求められることを理解する。 ・樹形図や表などを用いて場合の数を求めたり、それをもとにして、確率を求められる。 ・いろいろな場面で、起こりうる場合の数の求め方や、確率の求め方を説明することができる。 	☐ ☐ ☐
2学期期末考査	7章 箱ひげ図とデータの活用	p172 ～ p183	1節 箱ひげ図	1 箱ひげ図 2 データを活用して、問題を解決しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・データの整理方法として、箱ひげ図が読めることができる。また、整理することができる。 ・四分位数や四分位範囲を求めて複数のデータの特徴を読み取り、身のまわりの疑問を解決することができる。 	☐ ☐
	1章 式の展開と因数分解	p10 ～ p20	1節 式の展開と 因数分解	1 式の乗法、除法 2 乗法の公式	<ul style="list-style-type: none"> ・分配法則を使って、多項式と単項式の乗除をすることができる。 ・乗法公式を使って、多項式と多項式の乗法の計算を展開することができる。 	☐ ☐
		計 24				
		計 23				

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
冬休み			宿題	2学期復習の問題集		
3学期学年末考査	1章 式の展開と因数分解(3年)	p21 ～ p37	1節 式の展開と 因数分解	1 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・式の一部を1つの文字に置きかえて式を展開することができる。 ・因数、因数分解の意味を理解できる。 ・共通因数をくり出して式を因数分解することができる ・乗法公式を逆に使って式を因数分解することができる。 ・共通因数をくり出してから公式を利用し、式を因数分解することができる。 ・式の一部を1つの文字に置き換えて式を因数分解することができる。共通因数を作り出して式を因数分解する。 	☐
		計 17	2節 式の計算の利用	1 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・展開や因数分解を使って、式の計算をしたり、数の性質を調べることができる。 	☐
春休み			宿題	学力推移調査の過去問題		

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	数学	科目	数学B
				単位数	3
「学び」の目標とねらい	図形の性質を理解するとともに、論理的に物事を考え、証明という形で書き表す力を身につける。				
教材	数学 2・3(啓林館)				
副教材等	【必携】 WinPass (文理書院) 中学2年・3年 毎日の計算トレーニング BOOK2・3				

1. 学習内容

合同な図形・相似な図形を理解し、論理的な思考や証明方法を学習します。また、平行線の性質に関する角度や面積について学習します。

2. アドバイス

- <予習> 次回の授業に学習する内容の教科書範囲に目を通すこと。
- <復習> ○授業のあった日には、少なくともその日に学習した内容のノート・教科書に目を通すこと。そして、授業で解いた例や問を解くようにしましょう。さらに、取り組む意欲のある人は、問題集へ積極的に取り組みましょう。
- <その他> ○授業は、後で見てわかりやすいノートを取り、授業内で理解しようという気持ちで集中して取り組みましょう。
○計算問題を1日3題～5題解くようにしましょう。計算ができるようになると数学に対する自信もついてきます。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(小テスト・朝テスト・宿題・ノート提出・授業を受ける姿勢)

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期期末考査	5章 図形の性質と証明	p124 ～ p138	1節 三角形	1 二等辺三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形に関するいろいろな用語を理解する。二等辺三角形の性質が証明できる。 ・定義を知り、正三角形の性質を証明することができる。 ・二等辺三角形になるための条件を理解し、それを証明に使うことができる。 ・定理の逆の意味を知り、証明ができる。 ・二等辺三角形の性質や三角形の合同条件をもとに、直角三角形の合同条件を見い出すことができる。 	☐
		計 27		2 直角三角形の合同	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明できる 	☐
2学期中間考査	5章 図形の性質と証明	p139 ～ p157	2節 四角形	1 平行四辺形の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の定義や用語の意味を理解する。 ・平行四辺形の性質を利用して、図形のいろいろな性質を考察し、それを証明することができる。 	☐
		計 19		2 平行四辺形になるための条件	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形になるための条件を考え、それを証明することができる。 	☐
				3 いろいろな四角形	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の相互の関係を理解する。 ・長方形・ひし形・正方形の定義を知り、その性質が証明できる。 ・底辺を共有し、高さが等しい2つの三角形の面積が等しいことを理解している。 	☐
				4 平行線と面積	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの問題をいろいろな四角形の性質を利用して説明することができる。 	☐
				5 四角形の性質の利用		☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期期末考査	5章 図形と相似(3年)	p120 ～ p131	1節 図形と相似	1 相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりにある相似な図形(拡大図, 縮図)からその性質を見いだせる。 ・相似な図形の対応する辺, 角, 頂点を指摘でき, 記号$\sphericalangle$を使って表すことができる。 ・相似比の意味を理解している。比の性質を利用して, 辺の長さを求めることができる。 	☐
		2 三角形の相似条件		<ul style="list-style-type: none"> ・2つの三角形が相似になる条件がわかる。 ・三角形の相似条件を利用して, 相似な三角形を見いだすことができる。 	☐	
		3 三角形の相似条件と証明		<ul style="list-style-type: none"> ・証明のすすめ方にしたがって, 証明ができる。 ・根拠となることがらを明確にしながら, 図形の性質を証明できる。 	☐	
		計 12				

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	5章 図形と相似 (3年)	p132 ～ p159	2節 平行線と線分の比	1 平行線と線分の比 2 中点連結定理	<ul style="list-style-type: none"> 平行線の性質や三角形の相似条件を使って、三角形と比の性質を証明できる。 平行線と比の性質を使って、いろいろな線分の長さを求めることができる。 中点連結定理を理解し証明ができる。 三角形と比の性質や中点連結定理を使って、線分の長さを求めることができる。 三角形と比の性質や中点連結定理や平行線と比の性質を相互に関連づけて図形の性質を考えるのに活用できる。 	☐ ☐ ☐ ☐
		計 28	3節 相似な図形の計量	1 相似な図形の面積 2 相似な立体の 表面積・体積	<ul style="list-style-type: none"> 相似な平面図形の周や面積の比と相似比の関係を理解し、それを利用して問題を解決することができる。 相似な立体の表面積や体積の比と相似比の関係を理解し、それを利用して問題を解決することができる。 	☐ ☐
春休み			宿題	学力推移調査の過去問題		

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	2 年 1～5 組	教科	理科	科目	理科 1 分野
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	理科の学習の中から不思議を見つけ、調べられる。				
教材	『新編 新しい科学 2』 東京書籍				
副教材等	【必携】『中学必修テキスト理科2年(東京書籍版)』 文理 理科 I 用の B5 ノート 化学分野(1、2 学期)、物理分野(2、3 学期)				

1. 学習内容

理科とは、自然の現象になぜだろうという疑問をもって観察、実験などを行い、科学的にその疑問を知ろうとする能力の基礎と態度を養うとともに、自然の現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う教科です。

1 学期は化学分野のうち、化学変化と原子・分子について学びます。前半は、物質をつくっている『もと』が何かを、熱分解、電気分解を通じて学び、化学分野で最も大切なひとつである元素記号について学びます。また、元素記号を用いて、物質を『式』で表せることも学習します。後半は、化学変化を、化学式を用いて表す化学反応式や、代表的な化学変化である酸化、還元について実験を通して学びます。

2 学期前半は化学変化と物質の質量の関係、化学変化と熱の関係について学習します。特に化学変化と物質の質量の関係では、化学変化で重要な法則である、質量保存の法則を、実験を通して学びます。2 学期後半からは物理分野のうち、電気について学んで行きます。電流の正体から始まり、小学校で学んだ回路の特性について深く学ぶとともに、電流と電圧の関係からオームの法則を学びます。

3 学期は電気のうち、電流と磁界について学びます。電流と磁界の関係から、磁界を変化させることによって電流を取り出せることを学び、発電機の原理について深く理解していきます。

2. アドバイス

- ・暗記すべき事をしっかり暗記すること。
- ・問題を解くときは、図に表して理解する習慣をつけること。
- ・授業では、ノートには板書のみならず、口頭でなされた説明もメモする習慣が大切である。
- ・指示された確認テストにしっかり取り組むこと。
- ・授業に集中して、参加すること。

成績は、試験の結果のみではなく、確認テストなども含めて出されるものです。その指標が上にあげた点です。また、授業時に毎時間確認テストを行いますので、しっかりと学習しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(確認テスト・実験・ノート提出)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	化学変化と原子・分子	12-30	物質のなり立ち	カルメ焼きの秘密 水に電流を流したときの変化 物質をつくっているもの 原子と分子 物質と原子の記号	熱によって物質が変化し、どのような物質ができるかがわかる。 電気によって水が変化し、どのような物質ができるかがわかる。 物質が非常に小さな粒である原子できていることがわかる。 原子番号 1~36 までの元素記号がわかる。 原子と分子の違いがわかる。 代表的な物質の化学式がわかる。 単体と化合物の違いがわかる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		32-42	物質どうしの化学変化	異なる物質の結びつき 化学変化を原子の記号で表す	異なる物質を化合すると、別の物質ができることがわかる。 化学変化を、原子の記号を使って、化学反応式で表すことができる。 代表的な化学変化を、化学反応式で表すことができる。	☐ ☐ ☐
1学期期末考査	化学変化と原子・分子	44-56	酸素がかかわる化学変化	物が燃える変化 酸化物から酸素をとる化学変化	酸素との反応によって、別の物質に変化することがわかる。 酸化の化学変化を、化学反応式で表すことができる。 物質が酸素を失い、酸素と結びつく前の物質に戻る変化がわかる。 還元の化学変化を、化学反応式で表すことができる。 酸化と還元が同時に起こっていることがわかる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
				これまでに行った確認テストの復習 2学期最初の授業時に、中学1年～中学2年1学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。	☐	
夏休み	復習					☐

2学期中間考査	化学変化と原子・分子	60-66	化学変化と物質の質量	化学変化と質量の変化 化合するときの物質の割合	化学変化の前後で、物質全体の質量が変化しないことがわかる。 2種類の物質が化合するとき、それぞれの物質の質量の比が一定になることがわかる。	☐	☐
		68-75	化学変化とその利用	化学変化と熱 私たちの暮らしと化学変化	具体的な熱を発生する化学変化がわかる。 具体的な熱を吸収する化学変化がわかる。 身のまわりのさまざまな場面で化学変化が利用されていることがわかる。	☐	☐
2学期期末考査	電気の世界	214-223	静電気と電流	静電気の正体とその性質 放電と電流	静電気の発生のしくみがわかる。 電気が流れるしくみがわかる。 電流の正体がわかる。 電流と電子の流れの違いがわかる。	☐	☐
		224-247	電流の性質	電気の利用 回路に流れる電流 回路に加わる電圧 電圧と電流と抵抗 電気エネルギー	回路のしくみがわかる。 放射線の性質と利用がわかる。 直列回路、並列回路の電流の特徴がわかる。 直列回路、並列回路の電圧の特徴がわかる。 回路の電流、電圧の関係がわかり、オームの法則が使える。 直列回路、並列回路の抵抗の特徴がわかる。 電力を求めることができる。 熱量と電力、電流を流した時間の関係がわかる。 熱量と水の上昇温度の関係がわかる。 電力量と電力、電流を流した時間の関係がわかる。	☐	☐
冬休み	復習		これまでに行った確認テストの復習 3学期最初の授業時に、中学1年～中学2年2学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。			☐	

3学期学年末考査	電氣の世界	248-265	電流と磁界	<p>電流がつくる磁界</p> <p>磁界から電流が受ける力とモーター</p> <p>発電機のしくみ</p> <p>直流と交流</p>	<p>コイルに電流が流れると、コイルの内側と外側で逆向きの磁界ができることがわかる。</p> <p>磁石やコイルのまわりにはたらく磁界がわかり、磁界に影響を与えるものがわかる。</p> <p>電流が磁界から受ける力の向きと力に影響を与えるものがわかる。</p> <p>電流が磁界から受ける力が利用されているものがわかる。</p> <p>磁石とコイルから電流が得られ、その流れる向きがわかる。</p> <p>直流と交流の違いがわかる。</p>	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
春休み	復習		<p>これまでに行った確認テストの復習</p> <p>次年度最初の理科 I の授業時に、中学 1 年～中学 2 年 3 学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。</p>		☐	

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2 年 1～5 組	教科	理科	科目	理科 2 分野
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	理科の学習の中から不思議を見つけ、調べられる。				
教材	『新しい科学 2』 東京書籍				
副教材等	【必携】 『中学必修テキスト理科2年(東京書籍版)』 学書				

1. 学習内容

中学 2 年の理科 2 分野では、生物分野は動物と植物の内部形態とそのはたらき、地学分野では気象について学習します。

生物分野では初めに細胞について学び、次に植物と動物のからだのつくりとはたらきについて学びます。いずれも、1 年で学習した内容からさらに発展したものになります。

地学分野では気象について学びます。気象は、私たちの普段の生活に強く結びついていますが、その情報の多くを天気予報に頼っています。天気の変化の仕組みを理解することによって、より天気に対する興味・関心を高めてもらいたいと思います。

2. アドバイス

- ・暗記すべき事をしっかり暗記すること。
- ・問題を解くときは、図に表して理解する習慣をつけること。
- ・授業では、ノートには板書のみならず、口頭でなされた説明もメモする習慣が大切である。
- ・出される宿題、指示された小テストにしっかり取り組むこと。
- ・授業に集中して、参加すること。

成績は、試験の結果のみではなく、小テストなども含めて出されるものです。その指標が上にあげた点です。また、授業時に小テストを行いますので、しっかりと学習しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(小テスト・実験・宿題・ノート提出)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄	
1学期中間考査	生物のからだのつくりとはたらき	91-108	生物と細胞	水中の小さな生物	細胞のつくり 顕微鏡の操作(1年生の復習)	☐	
		109-128	植物のからだのつくりとはたらき	植物の細胞	植物の細胞	顕微鏡で細胞の観察	☐
				動物の細胞	動物の細胞	植物細胞のつくり	☐
				動物細胞のつくり	動物細胞のつくり	☐	
				細胞の呼吸	細胞の呼吸	☐	
				生物のからだと細胞	単細胞生物と多細胞生物の細胞	☐	
				単細胞生物と多細胞生物の比較	単細胞生物と多細胞生物の比較	☐	
				葉と光合成	葉を顕微鏡で観察し、つくりを理解する	☐	
				光合成に必要なもの	光合成のしくみを理解する	☐	
				植物と呼吸	光合成が葉の細胞のどの部分で行われているかを実験で調べる	☐	
				植物と水	植物の呼吸について理解する	☐	
				植物と水	気孔を顕微鏡で観察する	☐	
				水の通り道	吸水と蒸散の関係を理解する	☐	
		植物のからだを出入りする物質をまとめる	植物のからだを出入りする物質をまとめる	☐			
根のつくりとはたらきを理解する	根のつくりとはたらきを理解する	☐					
維管束のつくりとはたらきを理解する	維管束のつくりとはたらきを理解する	☐					
1学期期末考査	生物のからだのつくりとはたらき	130-148	動物のからだのつくりとはたらき	消化のしくみ	だ液によるデンプンの変化の実験 対象実験	☐	
		動物のからだのつくりとはたらき	消化管と消化酵素	消化管と消化酵素	☐		
			消化の流れ	消化の流れ	☐		
			吸収のしくみ	小腸のつくりと吸収のしくみ	☐		
			肺のつくり	肺のつくり	☐		
			呼吸のはたらき	肺呼吸と細胞の呼吸	☐		
			血液のはたらき	心臓のつくりとはたらき	☐		
			血液の成分とはたらき	血液の成分とはたらき	☐		
			血液の循環	血液の循環	☐		
			体液	体液	☐		
夏休み	復習		動物園、または水族館の見学		☐		
			1学期に行った小テストの復習		☐		

2学期中間考査	生物のからだのつくりとはたらき	144-145	動物のからだのつくりとはたらき	排出のしくみ	腎臓のはたらき	☐
		149-160	刺激と反応	刺激と反応 神経のはたらき 骨と筋肉のはたらき	肝臓のはたらき 刺激の受け取りと感覚器官 刺激に対するヒトの反応 反射 骨と筋肉の関係	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2学期期末考査	天気とその変化	173-195	気象の観測	気象の観測 大気圧と圧力 気圧と風 水蒸気の変化と湿度	気象観測のしかた 天気図の記号 大気圧 気圧と風の関係 気温と飽和水蒸気量 露点 湿度の計算	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		197-208	雲のでき方と前線	雲のでき方 気団と前線	雲や霧のでき方 雨や雪のでき方 地球上の水の循環のようす 前線の種類 気団と前線の関係 前線と雲 温帯低気圧と前線 前線と天気の変化	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
冬休み	復習		1、2学期に行った小テストの復習			☐
3学期学年末考査	天気とその変化	209-225	大気の動きと日本の天気	大気の動きと天気の変化 日本の天気と季節風 日本の天気の特徴 天気の変化の予測 気象現象がもたらすめぐみと災害	地球を取り巻く大気の流れ 季節風について 風のふき方 日本の四季と気象 翌日の天気の予想 気象現象による災害 気象災害を防ぐために	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
春休み	復習		1～3学期に行った小テストの復習			☐

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	音楽	科目	音楽
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	音楽の基礎的な知識・技術を身につけ、各声部のかかわりを理解しながら歌えるようになる				
教材	中学生の音楽 2・3 上、中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材等	【必須】キミウタ(混声合唱曲集) 【必須】アルトリコーダー				

1. 学習内容

○ 表現

- (1) 歌唱…混声三部合唱曲を通して、歌詞の内容を味わい、表現を工夫して歌う
- (2) 器楽…アルトリコーダーの特徴をとらえ、基本的な奏法を生かして演奏する
- (3) 創作…音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくる

○ 鑑賞

- (1) 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、音楽の良さを味わって聴く
- (2) 我が国の伝統音楽や諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して鑑賞する

2. アドバイス

- 中学2年生の音楽の授業は、週1回です。
- 実技教科ですので、1回1回の授業を大切に、積極的に授業に参加しましょう。
- 2月に合唱コンクールが行われます。中学2年生としての自覚を持ち、クラスで協力してのぞみましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

実技試験(授業内)・筆記試験(期末考査)・授業中の取り組み・提出物

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	美術	科目	美術
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	さまざまな素材を通じて発想力を育てる。				
教材	美術 2・3(開隆堂)				
副教材等	筆記用具、エプロン、絵の具セット など				

1. 学習内容

「どういうものを作るのか」最初にしっかりとイメージをもつことが大切です。
そのイメージをスケッチし、具体的な形に展開していきましょう。

2. アドバイス

試行錯誤の連続が力のある作品を生み出します。
いい作品を作るという気持ちを大切にすること。
より良い作品ができるよう、授業時間を有効に使って取り組んでください。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

授業態度、作品、定期考査の結果を元に評価します。
作品の提出が大前提です。
評価は「作品に対する取り組み方」、「完成度」を基準とする。
上手い下手よりも、丁寧さを重視して評価します。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	デザイン		レタリング	○レタリングの学習・実践 ○色彩学習	丁寧に作品を制作する。 色のもつ特性を体感し、彩色方法について理解する。	☐ ☐
1学期期末考査	絵画		色彩による平面構成	○防災ポスター制作 ○それぞれのイメージに近づけるよう画面を彩色する	画面構成力を養う。 イメージを具体化する。	☐ ☐
2学期中間考査	彫刻		立体作品の導入	○鑑賞 ○アイデアスケッチ	鑑賞の仕方を学ぶ。 人の動きに着目してスケッチする。	☐ ☐
2学期期末考査	彫刻		塑造	○粘土による塑像 ○イメージを表現する	粘土の使い方を知る。 力強く、動きを表現する。	☐ ☐
3学期学年末考査	絵画		スクラッチ	○クロスハッチング ○スクラッチ作品制作	クロスハッチングでの表現力を高める。	☐

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	技術・家庭	科目	家庭
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	「自分の生活」をさまざまな視点からみつめ、たくさんの発見をしよう。				
教材	技術・家庭 家庭分野(教育図書)				
副教材等	【必携】準拠ノート・ファイル(いずれも中学1年生のときに配布済)				

1. 学習内容

自分の人生や生活を深くみつめます。よりよい生活とはどのようなものかを実践的・体験的な学習活動を通して考え、生活の自立を目指します。中学校家庭科は「自分の生活について考える・体験する・身に付ける」をテーマにしています。

2. アドバイス

- 1 真剣に自分自身と向き合うこと
- 2 あらゆるものに興味を持って取り組むこと
- 3 製作課題は授業内で完成するように努力すること

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(課題、ノート、製作作品、授業に取り組む姿勢)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期期末考査	住まう	148-171	住まいのはたらき	住まいのはたらき 生活の文化	住まいに求められる精神的なはたらきと機能的なはたらきを理解する。地域の自然条件やライフスタイルなどにより、住まいにはいろいろな工夫があることを知る。	☐
			家族の生活と住まい	生活行為と住まいの空間	家族構成や暮らし方に応じて求められる住まいの条件を考え、住まい方の工夫について考える。	☐
			安全な住まい方	住まいの中で起こる事故	家庭内事故の防ぎ方や安全管理のしかたを理解し、安全な住まい方の工夫を考える。	☐
			健康と住まい	自然災害と住まい 室内環境を整える	地震に備えて、「自然と共に住まう」住まい方を考える。 環境に配慮した住生活について理解し、実践できる。	☐ ☐
2学期期末考査	食べる	68-77	食べるとは何か	毎日の食事を考える 栄養素の種類と働きについて知る	食事の役割を理解する。 朝食の重要性を知る。 五大栄養素の特徴を理解する。 栄養素の特徴と、栄養を多く含む食品を理解する。	☐ ☐ ☐ ☐
			78-93	健康と食生活	中学生に必要な栄養	食品成分表の使い方を知り活用でき、日常よく摂取する食品を1～6群のどれかに分類できる。 食事摂取基準を知り、活用できる。
		102-133	献立作成と食品の選択 食品の調理	1日分の献立を立てる 調理の計画・技術準備一身支度	中学生の1日分の献立を考慮することができる。 調理に必要な知識・技能を習得し、実生活に活用できる。	☐ ☐
3学期学年末考査		94-101	献立作成と食品の選択	食品の品質の見分け方と適切な選択	食品の品質の見分け方を知り、適切な選択をすることができる。	☐
		134-143	日常食の調理と地域の食文化	地域の食文化をみつめよう	地域の食文化について関心を持つ。 地域の食文化に関する調理を通して、食文化創造に取り組む。	☐ ☐

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2年1～5組	教科	技術・家庭	科目	技術
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	「電気」や「栽培」について理解し、生活に役立てよう。				
教材	技術・家庭(技術分野)				
副教材等	ファイル(中1の時のもの)、エプロン(指示があったとき)				

1. 学習内容

中1の時と同様、週に2時間の授業ですが、技術と家庭科を交互にやっていきます。ガイダンスの際に、予定表を配りますので、それにしたがって準備するようにしてください。なお、やむを得ない休校などがあった場合には、予定が変更になることがあるので、連絡をよく聞くようにしてください。

2年生では、通年を通して、「エネルギー変換に関する技術」を学習します(1学期は前半1時間のみ)。エネルギーの基礎を学んだあとに、電気エネルギーに関するものづくりをします。まずは、実際に延長コードを製作し、正しい電気の使い方を学習します。さらに応用として、「はんだづけ」のやり方を学んだ後、ラジオの製作をします。細かい作業で、危険な道具も使うので、ケガのないように、集中して安全に取り組むようにしましょう。

1学期には、2時間続きの授業のうち、後半の時間で「生物育成に関する技術」を学習します。人間が生活するうえで、生物はなくてはならないものです。種を発芽させ、苗を育て、花を咲かせ、実をつける。この自然の流れを意外と意識しないで生活していることと思います。今食卓に並んでいる食べ物は、どのように育てられて、皆さんの口に入るのか、学習しましょう。

2. アドバイス

成績は、技術・家庭科として、技術分野と家庭分野を50点ずつ足した、100点満点で出ます。学習内容はそれぞれ全く違いますが、評価は一緒で出てくるので、両方しっかりと取り組むようにしましょう。

定期テストは、1学期期末テスト、2学期期末テスト、学年末テストの3回行います。中間テストは行いません。試験範囲はファイル中心なので、日頃からプリントをしっかりと管理するようにしましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期テスト
- ・ファイル提出
- ・授業を受ける姿勢
- ・作品

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	生物育成に関する技術	136	わたしたちの生活と生物育成	1生物育成について 2栽培実習	生物を育成する技術はどのように行われているか。 栽培を行ううえで必要な環境要因を理解する。 土、肥料の働きを理解する。 定植後の管理を理解する。 水耕栽培を利用した栽培方法を知る。 ペットボトルでの水耕栽培キットを作成する。 間引き、水遣りなど管理をしながら、栽培する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	エネルギー変換に関する技術	92 109 111	わたしたちの生活とエネルギー変換 電気機器の安全な利用	4電気エネルギーと生活 5電気回路のしくみ	電気がどのように作られ、利用されているのか理解する。 電気製品によって、どのようにエネルギー変換されているか理解する。 身近な電気機器の製作を通して、電気の基礎を理解する。	☐ ☐ ☐
2学期	エネルギー変換に関する技術	212	電気機器の保守点検	6テーブルタップの製作 7手回し充電式ラジオライトの製作(はんだづけ)	交流電源のコンセントについての学習を深めるため、テーブルタップの製作をする。 許容電流・電圧に触れ、電気的安全性について学ぶ。 ショートや感電についても学習し、正しく安全に電気を使用できるようにする。 はんだづけの方法を正しく覚える。 手回し充電式ラジオライトを製作する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐

3学期	エネルギー変換に関する技術			7手回し充電式ラジオライトの製作(仕上げ)	<p>抵抗器、コンデンサ、トランジスタ・ダイオードの簡単な役割について理解する。</p> <p>カッティングシートを自由に切断してラジオライトに装飾を加える。</p>	☐ ☐
-----	---------------	--	--	-----------------------	---	--

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	2 年 1～5 組	教科	外国語	科目	英語
				単位数	6
「学び」の目標とねらい	英語で表現された(文字および音声)様々なテーマや話題(日常的な事柄)について概要をとらえることができる。また,それらについて事実や自分の考え,気持ちなどを整理し,簡単な語句や文を用いて相手に伝えたり,相手からの質問に答えたりすることができるようにするとともに,まとまりのある内容を話したり(スピーチ),書いたり(英作文)することができるようにする。				
教材	『NEW HORIZON English Course 2・3』(東京書籍)				
副教材等	<p>【必携】</p> <p>『エイゴラボ②』(正進社) 『英語ワイドノート A 前・後期』 (浜島書店)</p> <p>『チャレンジ英和・和英辞典』 (ベネッセ)</p> <p>※プリント管理用に多穴ファイル (1年時に配布したものを使用)</p> <p>※[タブレット PC の辞書機能(ことまな)も使います]</p> <p>【自宅保管】</p> <p>『αスタンダード』(文理) (朝テスト・自主学習用)</p>				

1. 学習内容

英語の基礎となる「話すこと(やり取り・発表)」「聴くこと」「読むこと」「書くこと」の4技能5領域の力を総合的に養います。1 年次に比べると「読むこと」「書くこと」の比重が大きくなります。教科書を中心に問題集なども効果的に利用し,しっかりと文法力を身に付けましょう。

登場する文の種類も多くなります。動詞の過去形を使った文, 過去進行形の文, [S+V+C]や[S+V+O+O]の構造を持つ文, 未来表現, 助動詞(will, may, must など), 不定詞, 接続詞, 動名詞などのパーツを使った文, There is ～. や There are ～. の文, 比較表現, 受け身といったものが登場し, 理解・表現の幅がぐんと広がります。

教科書を中心として授業を進めます。十分な口頭練習の後に文法的説明, 演習問題, 実践(実際に使ってみる)という順序を基本とします。

●英語 A 4 単位

※1 クラス 2 展開で実施。表現の能力(「話すこと(やり取り・発表)」「書くこと」), 理解の能力(「聞くこと」「読むこと」)の4技能5領域の力を総合的に養うことを目的とします。教科書の「Scene」, 「Read and Think」「Mini Activity」「Let's Talk」「Let's Listen」「Grammar for Communication」の部分を中心に, 問題集(「エイゴラボ②」)を効果的に利用し,しっかりと文法力を身につけるとともに, 長文を読む力, 自分の考えを英語で表現する力(自由作文)を養います。

●英語 B 2 単位

※1 クラス 1 展開で実施。1 単位はネイティブ教員とのチームティーチング, もう 1 単位は日本人教員による授業です。

<1 単位分>

日本人教員とネイティブスピーカーによるチームティーチングの形態で授業を行います。英語Aで学習したことを「話す(やり取り・発表)」「聞く」を中心に反復練習し, 定着させ, コミュニケーションツールとしての英語を身につけるとともに, 積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養います。教科書の「Unit Activity」, 「Stage Activity」を取り扱います。

<1 単位分>

英語Aで学習したことを「読む」「書く」を中心に反復練習し, 定着させるとともに, さらに高度なレベルへと発展させることを目的とします。

問題集や過去問題等を利用し, 外部模試や英語検定, 付属高校入試問題などに対応できる応用力を身につけていきます。長文問題や文法問題を数多く取り扱います。

2. アドバイス

中学 1 年生で学んだ英語の基礎の上に 2 年目の学習を積み重ねていきます。「自分のこと→対面する相手のこと→周囲の人たちのこと」と英語で表現する世界がさらにひろがる 2 年目, 教科書の英文を正しく読み, 書けることが第一段階, そしてその内容について自分の意見を英語で言えることが第二段階, 相手とそのことについて意見交換できるのが第三段階です。

授業で習ったことを知識として定着させるには, 繰り返し練習することが大切です。2 種類ある問題集のうち『エイゴラボ②』は基礎的な反復練習問題, 『oスタンダード』は少し難易度の高い入試レベルの問題を含んでいます。宿題として出されなくても主体的に問題集を進めるようにしましょう。また, 音声データを活用して音読する練習を続けましょう。

習ったことはすぐに使ってみることが知識の定着を助けます。また, 外国や外国語, 異文化に興味を持ち, 自分から進んで学習に取り組みましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・平常点(授業態度・朝テスト・授業内の小テスト・宿題・課題・実技試験・ノートなどの提出物)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄		
1 学期 中間 考査	過去の表現 未来の表現 文の構造	4-5	ガイダンス Unit 0 My Spring Vacation	授業の受け方 ◆動詞の過去形, ◆進行形, ◆There is [are] ….	授業を受ける上での約束事, や心構えなどを確認する。 過去形や過去進行形を用いた文, There is [are] …. の文の形・意味・用法を理解する。	☐		
		7-16	Unit 1 A Trip to Singapore 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 休暇や週末の予定について, たずねたり伝えたりすることができる。	◆be going to, ◆助動詞 will ◆SVOO 第4文型 ◆SVOC 第5文型 (C=名詞)	be going to を用いた文の形・意味・用法を理解する。 助動詞 will を用いた文の形・意味・用法を理解する。 SVOO の文の形・意味・用法を理解する。	☐		
		17	Let's Talk 1 ホテルでのトラブル 場面に応じて, 苦情を言ったり, それに対して謝ったりすることができる。 Grammar for Communication 1	I have a problem with …. … doesn't work. I apologize for ….	苦情を言うときや謝罪するときの表現の意味や働きを理解する。	☐		
		18	Learning <i>HOME ECONOMICS</i> in English	◆5つの文構造	5つの文構造の形・意味・用法を理解する。 動詞の種類や伝えたい内容に合わせて, 適切な構造の文を使い分けることができる。	☐		
		19	Let's Listen 1 機内放送 機内放送を聞き, 必要な情報を聞き取ることができる。	◆助動詞 will	食品や食品表示に用いられる語彙を理解する。	☐		
		20	Unit 2 Food Travels around the World 日本や外国の料理を知り, 食文化の歴史や変化について考える。	◆be going to, ◆助動詞 will	予定などを伝える表現の意味や働きを理解する。	☐		
	接続詞	21-30	Unit 2 Food Travels around the World 日本や外国の料理を知り, 食文化の歴史や変化について考える。	◆接続詞 when	接続詞 when を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐		
				◆接続詞 if	接続詞 if を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐		
				◆接続詞 that	接続詞 that を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐		
				◆接続詞 because	接続詞 because を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	接続詞	31	Let's Talk 2 ていねいなお願い 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。	May I ...? Could you ...?	ていねいに許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解する。	☐
		32	Grammar for Communication 2	◆接続詞	接続詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐
		33	学び方コーナー①	単語の覚え方	英語の単語を覚えるために、音とつづりと意味についての知識を活用する。	☐
		34	Let's Listen 2 インタビュー インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。	◆接続詞 when, because	時や理由を伝える表現の意味や働きを理解する。	☐
1学期期末考査	不定詞	35-44	My Future Job 題材 これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考える。	◆不定詞(目的を表す副詞的用法) ◆不定詞(原因を表す副詞的用法) ◆不定詞(名詞的・副詞的用法) ◆不定詞(形容詞的用法) It is ...+to	不定詞(目的を表す副詞的用法)を用いた文の形・意味・用法を理解する。 不定詞(原因を表す副詞的用法)を用いた文の形・意味・用法を理解する。 不定詞(名詞的・副詞的用法)を用いた文の形・意味・用法を理解する。 不定詞(形容詞的用法)を用いた文の形・意味・用法を理解する。 〈It is ...+to〉の文の形・意味・用法を理解する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		45	Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信 留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。	◆不定詞	電子メールの基本的な構成や表現を理解する。	☐
		46	Grammar for Communication 3	◆不定詞	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1 学期期末考査	不定詞	47	Learning <i>TECHNOLOGY</i> in English	◆不定詞	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐
		48-51	Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future 好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。	◆既習事項の総復習 Word Room(仕事)	Unit 3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解する。 10 年後の自分へのメッセージを伝えるために、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について書くことができる。	☐
		52-55	Let's Read 1 History of Clocks 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	◆既習事項の総復習	時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えることができる。	☐
2 学期中間考査	助動詞	56	Let's Listen 3 天気予報 天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	◆助動詞 will	未来を表す表現の意味や働きを理解している。 週末の予定を立てるために、天気予報やおすすめの場所の情報を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	☐
		57-66	Unit 4 Homestay in the United States 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。	◆have to, ◆do not have to	have to を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐
		67	Let's Write 2 ホームステイのお礼状 お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。	◆助動詞 must, must not ◆動名詞(目的語) ◆動名詞(主語) ◆動名詞	助動詞 must を用いた文の形・意味・用法を理解する。 動名詞(目的語)を用いた文の形・意味・用法を理解する。 動名詞(主語)を用いた文の形・意味・用法を理解する。 手紙を書く際の基本的な構成と表現を理解する。	☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	助動詞 疑問詞	68	Grammar for Communication 4 学び方コーナー②	◆助動詞	助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 現在の状況や原因を伝える表現、路線や行き先を表す表現の意味や働きを理解する。 〈疑問詞+to〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。	☐
		69		音読の仕方		☐
		70	Let's Listen 4 電車の運行情報 運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。			
		71-80	Unit 5 Universal Design だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。	◆疑問詞+to	〈主語+動詞+(人)+疑問詞+to〉の文の形・意味・用法を理解する。	☐
				◆主語+動詞+(人)+疑問詞+to	〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+動詞+(人)+疑問詞+to〉の文の形・意味・用法を理解する。	☐
				◆疑問詞+to, ◆主語+動詞+(人)+疑問詞+to	〈主語+be 動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解する。	☐
				◆主語+be 動詞+形容詞+that	ある人物の功績についての文章の構成を理解する。	☐
2学期期末	比較表現	81	Let's Talk 3 電車の乗りかえ 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。	◆Could you tell me how to get to ...?	乗り物での行き方をたずねる表現や乗りかえに関する表現の意味や働きを理解している。	☐
		◆Take ...				
		82	Let's Listen 5 留守番電話 留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。	◆疑問詞+to	電話での対応で用いる表現の意味や働きを理解している。 比較表現(…er, the …est)を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐
		83-92	Unit 6 Research Your Topic 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。	◆比較表現 (…er, the …est)	比較表現(more …, the most …)を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐
				◆比較表現 (more …, the most …)		
				◆比較表現 (better, best)	比較表現(better, best)を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐
				◆比較表現 (as … as ~)	比較表現(as … as ~)を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期期末考査	比較表現	93	Let's Talk 4 買い物 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。	◆ Shall I …? ◆ 比較表現	好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解している。	☐
		94-95	Grammar for Communication 5	◆ 比較表現	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐
		96-98	Stage Activity 2 Research and Presentation クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。	◆ 既習事項の総復習	Unit 6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐
		99	学び方コーナー③	◆ 意見の述べ方	あるテーマについて、自分の賛成や反対の意見を効果的に伝えることができる。	☐
3学期学年末	比較表現	100-103	Let's Read 2 A Glass of Milk 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。		2つ以上のものを比べる表現の意味や働きを理解する。	☐
		104	Let's Listen 6 商品のコマーシャル 商品のコマーシャルを聞き、商品の特長を聞き取ることができる。	◆ 比較表現	受け身(平叙文)の文の形・意味・用法を理解する。 受け身(疑問文)の文の形・意味・用法を理解する。	☐ ☐
	受動態	105-114	Unit 7 World Heritage Sites 世界遺産の特徴について知り、その特別な価値について考える。 各地の世界遺産を紹介することができる。	◆ 受け身(平叙文)	受け身(by … つき)の文の形・意味・用法を理解する。	☐
				◆ 受け身(疑問文)	電話での対応の表現や好み・要望を伝える表現の意味や働きを理解する。	☐
				◆ 受け身(by … つき)		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	受動態	115	Let's Talk 5 電話でのやり取り 自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。	◆Do you want to ...? —I'd like to, but I can't.	電話での対応の表現や好み・要望を伝える表現の意味や働きを理解する。	☐
		116	Grammar for Communication 6 Let's Listen 7	◆受け身	イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解している。	☐
		117	店内のアナウンス 店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。	◆受け身	イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解する。	☐
		118-121	Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。	◆既習事項の総復習 Word Room(場所)	Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。	☐
		122-126	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	◆既習事項の総復習	時系列を表す文章構成や語句を理解している。	☐